



その中の1つが災害救護事業です。

地震や台風などの災害等が発生した場合、救護班を派遣して医療救護活動をするほか、救援物資の配分、こころのケア、ボランティア活動等を実施します。

また、災害が起きてからの救護活動だけでなく、平時からの防災・減災の普及活動も重要であると考え、様々な取り組みを実施しています。

例えば、子どもたちが「地震のあとにどんなことが起こるのか」を遊びながら学べるすごろく形式の教材を開発し、学校現場で防災教育事業を実施しています。

また、自治体や企業等に出向き、災害図上訓練（DIG）や、被災者の経験談を通じて災害を追体験する災害エスノグラフィー等の赤十字防災セミナーを実施し、地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高めています。

さらに、災害時に救護班のサポートや避難所での炊き出し等をする赤十字防災ボランティアの養成も行っています。

過去の災害から得た教訓を踏まえ、将来の大規模災害から人々のいのちを守るため、今後も防災・減災の取り組みに力を入れてまいります。



<日本赤十字社愛知県支部 URL>

<https://www.jrc.or.jp/chapter/aichi/>

---

## 2. 本ネットワークの参画団体からのお知らせ (防災イベントの予定等)

---

- (1) あいち・なごや強靱化共創センター  
(共催：愛知県、名古屋市、名古屋大学、名古屋商工会議所、中部経済連合会)

○イベント名

あいち・なごや強靱化共創センターBCP講習会

○開催日時

2023年2月2日(木) 14:00~16:50

○開催場所

名古屋大学減災館 1階 減災ホール  
(名古屋市千種区不老町)

○概要

BCP策定中・策定済み企業の皆様を対象に、BCPを支える施設強靱化について専門家の解説とともに、コンサルタントによる習熟度に応じたBCP策定・見直しのポイントを解説する講習会を開催します。是非、ご参加ください。

今年度は3年ぶりに会場受講での開催となります。

○Web ページ URL

【詳細はこちら】

[http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso/seminar&event.html#BCP\\_seminar](http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso/seminar&event.html#BCP_seminar)

【お申込みはこちら】

<https://www.kyoso-seminar.com/>

●その他

本講習会について、業界団体様から各会員企業様へ積極的にご周知いただけましたら幸甚です。

チラシが必要な場合、お送りすることも可能ですので、あいち・なごや強靱化共創センター(電話:052-747-6979、メール:kyoso@gensai.nagoya-u.ac.jp)までお問合せください。

## (2) 内閣府

### ○イベント名

防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム  
(防テク PF) 第6回マッチングセミナー

### ○開催日時

2023年2月10日(金)

### ○開催場所

仙台サンプラザ

<https://www.sendai-sunplaza.com/access/>

※オンライン (Zoom) 同時開催

### ○概要

- ・参加費は無料です
- ・第1部(セミナー) 10:00~12:00  
官民連携事例紹介 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震への備えなど  
防テク PF の活用事例の紹介 マッチング事例やモデル自治体支援事業の紹介
- ・第2部(G7 仙台科学技術大臣会合開催記念 仙台 BOSAI-TECH セミナー) 13:00~14:30  
仙台市津波避難広報ドローンの実装事例の紹介  
先端テクノロジーを防災へ  
-企業間連携促進ピッチ-
- ・第3部(個別相談会) 15:00~17:00  
1自治体×1企業の商談による自治体防災課題解決を目指す「個別相談会」

### ○Web ページ URL

- ・第6回マッチングセミナー プレスリリース：  
[https://www.bousai.go.jp/pdf/221216\\_tec06.pdf](https://www.bousai.go.jp/pdf/221216_tec06.pdf)
- ・セミナー参加者募集中! 以下 URL からご登録ください。(2023年2月6日(月) 18:00 まで)  
<https://forms.office.com/r/uL8EhHSSCT>
- ・マッチングサイトの登録(サイト未登録の方):  
<https://www.bosaitech-pf.go.jp/>

---

### 3. 編集後記（事務局・協力団体のひとこと）

---

国土交通省中部地方整備局 [REDACTED] です。

皆様方には、日頃から、国土交通行政にご理解とご協力をいただきまして、厚く御礼を申し上げます。  
誠にありがとうございます。

小職は、令和4年4月から現部署に異動になり、南海トラフ地震対策中部圏戦略会議の事務局を始め事務系の防災業務を担当させていただいております。

専門的に防災業務を担当するのは初めてですので、皆様には、ご教示をいただいたりご迷惑をおかけしていると思いますが、引き続き、よろしく申し上げます。

南海トラフ地震対策中部圏戦略会議は、南海トラフ地震等巨大地震に対して総合的かつ広域的視点から国、地方公共団体、学識経験者、地元経済界が一体となって重点的・戦略的に取り組む事項を「中部圏地震防災基本戦略」として策定し、フォローアップをしていくことを目的とするものです。

同会議は、平成23年に発足してから10年以上が経過しており、巨大地震対策の実効性の向上のため、関係機関の皆様には11の連携課題の解決に向けた取組みを実施していただいております。加えて今年度はタイムラインのスケジュールどおりの実行の可否等について点検を行っていただきました。

（参考

<https://www.cbr.mlit.go.jp/senryaku/senryaku.htm>）

新しいものが大好きな小職は、これら防災業務を通じて、学識経験者や行政機関、企業の防災担当の皆様から未知の知見や事実をご教示いただいたり、大規模イベントの準備、HPの掲載作業、YouTubeの配信など新たな経

験をさせていただくなど、自然に意識が高揚することが多くなり、感謝しております。

一方、防災業務を行う上で、小職が重要だと考えて意識しているのは、不都合な真実（事実）を受け止めるということであり、これには日々ストレスを感じております。

防災業務では、被害想定や必要な災害体制の不備、災害対応の失敗などネガティブな情報や事実に囲まれているので、楽天的な性格の小職は、軽く見積もらないように目を背けないようにと常に自己チェックが欠かせません。

皆様が防災業務を行う上で意識していることがありましたら、教えてください。

最後になりましたが、中部地方整備局では、災害対応において、皆様と連携して計画し準備を整え対応するとともに、T E C - F O R C E 派遣を始めとする支援等を行ってまいります。

引き続き、ご理解とご協力をお願いします。

